

## 2006年度神奈川災害ボランティアネットワーク総会次第

2006年6月10日(土)午後6時10分から午後8時00分  
かながわ県民センター 301

◆ 司会 海老名災害ボランティアネットワーク  
副代表 橋本賢司

総会 (30分)

1. 開 会

2. 代表あいさつ 神奈川災害ボランティアネットワーク代表 吉村 恭二

3. 来賓紹介 神奈川県安全防災局 村山正和 局長  
神奈川県県民部県民総務課NPO協働推進室 坂井雅幸 室長  
かながわ県民活動サポートセンター 斎藤百合子 所長

4. 参加者・団体紹介

5. 議長選出

6. 議 事

第1号議案	2005年度事業報告について
第2号議案	2005年度決算報告について
	(監査報告)
第3号議案	2006年度基本方針・事業計画(案)について
第4号議案	2006年度予算(案)について

パネルディスカッション 「若者世代との連携を深めるために」(60分)

パネリスト 鈴木 幸一 (神奈川災害ボランティアステーション代表)  
渡辺 善明 (横須賀市民活動サポートセンタースタッフ)  
原田二三子 (女性防災かわさき代表)

コーディネーター 吉村 恭二 (神奈川災害ボランティアネットワーク代表)





(耐震診断)



(自動体外式除細動器 (AED) 講習)

内 容 今回の講座は地元大和に関しては「大和災害ボランティアネットワーク」に協力いただくとともに、相模原防災ボランティアネットワークの協力を得られるなどもあり県央地区の広い層からの参加があった。また、これまでの講座の仕様とは異なり「災害ボランティアコーディネーター」という概念を学ぶ前段として身の回りの生活から見直すこととし、自宅の耐震診断、駅やデパート等でも最近見かける自動体外式除細動器の講習を取り入れた。

特に耐震診断に関しては折からのマンション強度の偽装問題と重なったこともあり参加者は興味津々であり、自動体外式除細動器 (AED) 講習はこのことを始めて知った受講者がほとんどであった。

「コーディネーターの必要性を理解することができた」や「求められる役割がわかった」「災害時に機能するためには普段の日常が問われている」「地元の団体や情報をもっと知る必要がある」などの感想が寄せられ、その点では大きな成果が得られた。

参加者 31人

### ③2005年度災害ボランティアコーディネーター養成講座中級編 (県央会場)

(※報告資料参照)

日 程 12月10日(土)、12月11日(日)

会 場 大和市保健福祉センター・大和市勤労福祉会館

主 催 神奈川災害ボランティアネットワーク  
災害ボランティアコーディネーター養成講座中級編実行委員会

共 催 やまと災害ボランティアネットワーク

協 力 神奈川共同募金会 大和市 災害時における行動マニュアル作成委員会

内 容 「災害時における行動マニュアル作成委員会」の協力を得て、災害ボランティアセンター立ち上げ訓練とボランティアコーディネーターの受け入れ訓練等、実技を主とした講座を実施した。地域ネットワークを越えた参加者同士の情報交換の機会とすることができた。

参加者 30人

### ④災害ボランティアコーディネーター特別講演会

日 程 12月17日(土)

会 場 大和市役所会議室棟

講 師 筒井のり子氏 (日本ボランティアコーディネーター協会代表理事 龍谷大学教授)

主 催 神奈川災害ボランティアネットワーク

共催 神奈川県 やまと災害ボランティアネットワーク  
協力 大和市

内容 「ボランティアコーディネーター」の重要性について学ぶと題し、21世紀の市民社会を作る役割がボランティアコーディネーターに求められることを学んだ。

参加者 31人



④ 2005年度災害ボランティアコーディネーター養成講座中級編（横須賀会場）  
（※報告資料参照）

日程 3月11日(土)、3月12日(日)

会場 横須賀市立総合福祉会館

主催 神奈川県災害ボランティアネットワーク  
災害ボランティアコーディネーター養成講座中級編実行委員会

共催 横須賀災害ボランティアネットワーク 横須賀市社会福祉協議会

協力 神奈川県共同募金会 横須賀市

内容 「災害時における行動マニュアル作成委員会」の協力を得て、災害ボランティアセンター立ち上げ訓練とボランティアコーディネーターの受け入れ訓練等、実技を主とした講座を実施した。また、地図を使った図上訓練やコーディネーターとして必要な情報収集力や創造力などを身につけ機会とすることができた。

参加者 60人

2 災害ボランティアコーディネーター養成のための講座カリキュラム策定

◆カリキュラムの検証とボランティア行動マニュアルの効果的な実践

2005年度は、災害ボランティアコーディネーター養成講座ガイドラインを基本とし、災害ボランティア養成講座中級編において、コーディネーターハンドブックを活用したシミュレーション訓練を繰り返し実施し、コーディネーター養成のための活動の共有化を図った。なお、ボランティアセンター開設訓練でハンドブックを活用することで、改善点の検証や実践的なコーディネーター養成につながることを確認することができた。

なお、この取り組みを通して各地域ネットワークの具体的共有化と、災害ボランティアコーディネーターガイドラインを基本とした研修活動の充実を図ることができた。

3 ホームページ作成研修会

地域ネットワークや関係団体とのリンクを強化するために、神奈川県災害ボランティアネットワークのホームページのリニューアルを図りました。ホームページの作成・編集・更新には藤沢災害救援ボランティアネットワークの水島三千夫氏にご協力をいただきました。

ホームページ作成研修会については、具体的な計画を立てることができず、実施に

は至りませんでした。

#### 4 神奈川県総合防災訓練への参加（※報告資料参照）

##### ◆神奈川県・南足柄市合同防災訓練への協力

南足柄市社会福祉協議会が中心になり、神奈川県災害ボランティアネットワークの呼びかけで、各地域災害ボランティアネットワークのなどボランティア団体の協力を得て広域的なボランティア訓練を実施しました。

日時 9月4日（日） 10時～12時

会場 南足柄市営総合グラウンド、南足柄市りんどう会館

主催 神奈川県 南足柄市

内容 被災地におけるボランティア支援センターの開設運営。南足柄市社会福祉協議会を中心として、ボランティアセンターを設置してボランティアの受入と調整、派遣等を行ないました。

#### 5 関係団体、行政等の連携強化と連絡体制の整備

##### ◆社会福祉協議会との関係強化

全国社会福祉協議会の方針でも災害時における様々なボランティアネットワークなどとの協力、連携関係の構築を呼びかけていることを受け、県社会福祉協議会が主催する市町村社協職員対象の研修に参加し、同一地域内の地域災害ボランティアネットワーク（13団体）との協力関係をいっそう強めていく働きかけを開始しました。

社会福祉協議会との連携強化については2006年度も継続して取り組みます。

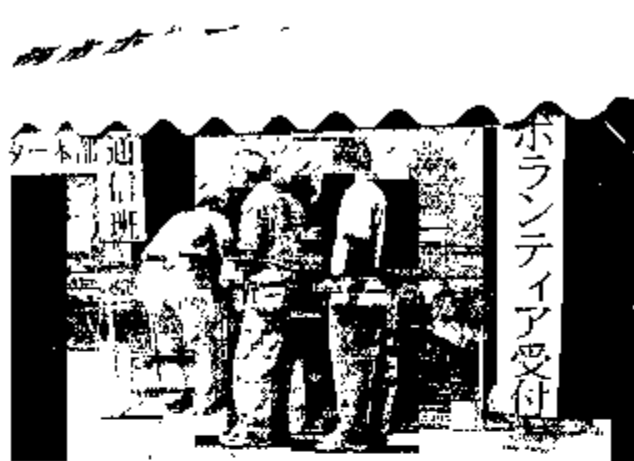
##### ◆連絡体制の整備

日常から緊急時までも見据えた情報戦略には着手できませんでした。

## 神奈川県・南足柄市合同総合防災訓練報告

日 時 9月4日(日) 10時から12時

会 場 南足柄市総合グラウンド、南足柄市りんどう会館



訓練のための災害ボランティアセンターは、当初の計画とおり、南足柄社協の計画で動きました。

すでに社協で具体的な計画と役割分担が作っており、神奈川災害ボラネットワークは春日山荘老人ホームへの被災者救助活動、いずみ地区救助、救助物資搬送等のボラ活動が割り振られ、センターへの直接支援活動はありませんでした。

参加は、川崎災害ボラネット、海老名災害ボラネット、横須賀災害ボラネット、西湘災害ボラネット、はだの災害ボラネット、が参加しました。

西湘ボラネットはアマチュア無線を使つての情報伝達訓練。横須賀災害ボラネットは春日山荘老人ホームへの被災者救助活動になり、出発時文書の引渡しでもたもたしましたが、車椅子を社協のバスに積んで、途中、橋が壊れているとの想定で、バスをおり10名ほどの高齢者被災者(近隣町内会ボラが担当)を老人ホームで引取り、救助し再びバスに乗り、途中で他の被災者をバスに乗せ、全体会場の総合グラウンドに搬送し、本部員に引き継ぎました。

横須賀ネットのボラが他の役割に付き、不足のボラをはだのネットと川崎ネットのボラに応援してもらい、無事訓練を終了しました。



■大和会場 2005年12月10日・11日 (参加者30人)

●12月10日(土) 1日目 (大和市保健福祉センター)

時間	プログラム	
9:45	開会・オリエンテーション	
10:00	災害救援ボランティアコーディネーターハンドブック解説	講師：マニュアル検討委員
11:00	コーディネーターハンドブック活用図上訓練Ⅰ	講師：植山利昭さん
12:00	昼食	川崎災害ボランティアネットワーク代表 神奈川災害ボランティアネットワーク副代表
13:00	コーディネーターハンドブック活用図上訓練Ⅱ	
14:30	コーディネーターに求められるもの (16:00終了)	講師：興梠 寛さん 世田谷ボランティア協会理事長



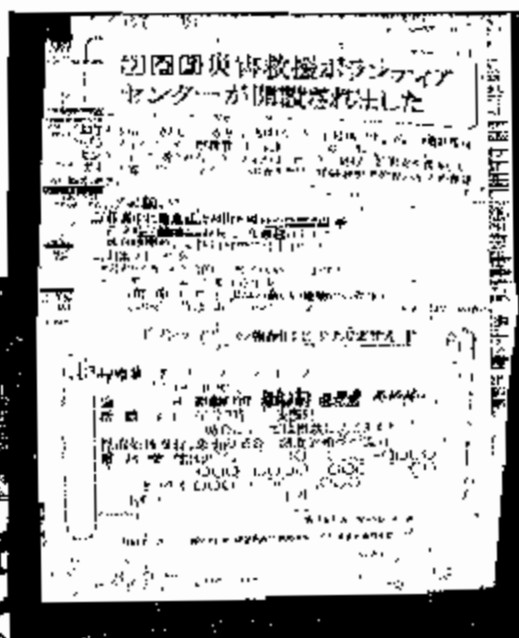
(図上訓練)



(世田谷ボラ協理事長 興梠 寛氏)

●12月11日(日) 2日目 (大和市勤労福祉会館)

時間	プログラム	
10:00	災害ボランティアコーディネーター シミュレーション訓練Ⅰ	講師：渡辺誠二さん 災害時におけるボランティア行動マニュアル作成 検討委員会委員長 港北区災害ボランティア連絡会 代表
12:00	昼食	
13:00	災害ボランティアコーディネーター シミュレーション訓練Ⅱ	講師：マニュアル検討委員会委員の皆さん
15:00	振り返り	
15:30	終了証の授与 (15:45終了)	



(シミュレーション訓練：ボランティアセンター立ち上げ訓練)

# 災害ボランティアコーディネーター養成講座中級講座

■横須賀会場 2006年3月11日・12日(参加者60人)

●3月11日(土) 1日目 (横須賀市立総合福祉会館 5階 視聴覚研修室)

時間	プログラム	
9:45	開会・オリエンテーション	
10:00	アイスプレイング	講師:レクリエーション協会
10:30	横須賀市地域防災計画	講師:横須賀市職員
11:30	コーディネーター図上訓練Ⅰ	講師:植山利昭さん
12:00	昼食	川崎災害ボランティアネットワーク代表 神奈川災害ボランティアネットワーク副代表
13:00	コーディネーター図上訓練Ⅱ	
14:30	中越でのボランティアセンター運営の現状	講師:渡辺誠二さん 港北区ボランティア連絡会代表
15:30	コーディネーターハンドブックの解説	講師:マニュアル検討委員
16:00	終了	



(図上訓練Ⅱ)



(図上訓練Ⅰ)

●3月12日(日) 2日目 (横須賀市立総合福祉会館 7階 第1音楽室)

時間	プログラム	
10:00	災害ボランティアコーディネーター シミュレーション訓練Ⅰ	講師:渡辺誠二さん
12:00	昼食	災害時におけるボランティア行動マニュアル作成 検討委員会委員長 港北区災害ボランティア連絡会 代表
13:00	災害ボランティアコーディネーター シミュレーション訓練Ⅱ	
15:00	振り返り	講師:マニュアル検討委員会委員の皆さん
15:30	終了証の授与 (15:45終了)	



(シミュレーション訓練:ボランティアセンター立ち上げ訓練)



## 第2号議案

### 2005年度 神奈川災害ボランティアネットワーク決算書(案)

収入の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	予算に対する 増 減 (△減)	備 考
1 会費収入	300,000	134,000	△ 166,000	
2 助成金収入	600,000	600,000	0	神奈川共同募金会
助成金	600,000	600,000	0	
3 賛助金収入	100,000	0	△ 100,000	
賛助金	100,000	0	△ 100,000	
4 委託金収入	400,000	400,000	0	
県負担金	400,000	400,000	0	災害ボランティアコーディネーター養成講座 400,000
5 参加費収入	160,000	162,500	2,500	
養成講座参加費	160,000	162,500	2,500	初級編70人×1,000円=70,000 中級編90人×1,000円=90,000 特別講座6人×500円=2,500
6 雑収入	10,003	111,815	101,812	
預金利子	3	5	2	
その他	10,000	111,810	101,810	マニュアル代 106,810 郵便金 5,000
7 繰越金収入	290,142	570,417	280,275	
繰越金	290,142	570,417	280,275	
合 計	1,860,145	1,978,732	118,587	

## 支出の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	予算に対する 増 減 (△減)	備 考
1 事業費	1,380,000	1,200,000	△ 190,000	
養成講座	1,200,000	1,200,000	0	初級600,000 中級600,000
広報啓発事業	60,000	0	△ 60,000	
学習会	30,000	0	△ 30,000	
ボランティア訓練	100,000	0	△ 100,000	
2 広報費	281,143	0	△ 281,143	
ニュース印刷費	20,000	0	△ 20,000	
ニュース郵送費	40,000	0	△ 40,000	
リーフレット作成費	221,143	0	△ 221,143	
3 交通費	40,000	48,190	8,190	
会議交通費	40,000	46,190	6,190	
4 事務費	140,000	124,943	△ 15,057	
会議開催諸費	20,000	16,600	△ 3,400	
電話代	40,000	50,400	10,400	
コピー代	10,000	10,800	800	
事務用品代	10,000	11,900	1,900	
振込手数料	5,000	2,520	△ 2,480	
通信運搬費	40,000	32,723	△ 7,277	
インターネット契約料	15,000	0	△ 15,000	
5 予備費	9,002	0	△ 9,002	
6 次年度繰越金	0	607,599	607,599	リーフレット未作成分 221,143円含む
支 出 合 計	1,860,145	1,978,732	118,587	

## 監査報告書

私どもは、神奈川県災害ボランティアネットワーク会則第11条の規定に基づき、2005年度の会計収支決算書の監査をした結果、いずれも適正かつ正確に執行されていたことを認めます。

2006年6月8日

神奈川県災害ボランティアネットワーク

監事 川崎 勲 (印)

監事 藤尾 浩司 (印)